



倭 万智選

どの向きに落ちるのかまだわからない鉦の外れ
かかった地球儀

大野城市 野分 のわ

【評】地球儀を支える鉦がグラグラしている。実景を描写しているようで、全体が比喩とも読める。いま地球に起こっている様々な危機。その先行きは不透明だ。下の句の句ま

たがりが、不安定さを際立たせて印象深い。「普通でいい」の普通はナイフの鋭さで食パンに塗る厚めのバター

安城市 唐沢 うに

【評】普通は決して簡単ではない。「普通で」という言葉のナイフに傷つきながら、手元のバターを塗るナイフは「厚め」で抵抗している。

わたしから離れるすべと知りながらさみにちいさな靴を与える

朝霞市 桐島 あお

【評】成長を見守る親の複雑で普遍的な気持ちだが、靴に託された。子どもの自立は、喜ばしいことであり、同時に寂しいこともある。

とらのもんひるすと駅に仮名ふればほんわか聞こえるドラえもんの声

東京都 浅倉 修

枝豆を枝ごと買って帰るのかさばりこそが夏の祝福

京都市 袴田 朱夏

いっせいにアラート鳴りて目をやれば窓のむこうのいつもの琵琶湖

高島市 くらたか湖春

明日こそ戦争が終わりますように ラジオ英会話

四万十市 鎖月いのる

話は寝る前に リフォームをリホームと打つ母がいて水無月に

横浜市 紺屋小町

咲く花は綺麗だ 青菫のふかふかベッドに横たわりさよならを云

川崎市 磯 音澄

いたいそら豆になって 必要なビタミンぜんぶ詰まってるサプリメント

横浜市 富尾 大地



黒瀬 珂瀾選

百人の陽キャといっても変わらない僕はなんだと
イオンを学ぶ

北海道 登 ゆう

【評】学校中みんな陽キャで、陰キャの僕は馴染めない。化学の時間に陽イオン、陰イオンの差を学びつつ、じゃあ僕は何なんだろう？

でもきつと、どこかに友はいますよ。寝がえりのたびに覚めたり あじさいの精が訪ねて来そうな夜だ

東京都 大野多恵子

【評】蒸し暑くて寝苦しい夏の夜。窓の外には紫陽花が茂っている。そんな夜は、花の妖精と夜話をしてみたいもなりますね。

田植え済みて暫し安らぐ山里に夏告げるがに伊勢神楽来る

南丹市 中川 文和

【評】地元のお宮さんの祭礼に、伝統の伊勢大神楽の講中がやって来る。田植えの後の農村の楽しみ、静かな村もこの時ばかりは華やき、季節の移ろいを古風に告げるのです。

そのむかし新憲法に出会ひし日浜屋敷が浜辺に咲いた

東京都 大村 森美

哀しさを飲み込むために匙させば決壊をするウインナコーヒ

富山市 森田 翠

新硬貨使えませんかと返されて自販機の茶を飲めない夏日

仙台市 小野寺寿子

強かに降りつづく雨あじさいのまだ色持たぬつぼみを濡らす

橋本市 宮本 好美

子を抱く観音こそは哀しけれ墓誌に彫られし零才の文字

横浜市 長倉メロン

嫌われるカラスの親も健気なり銀座の谷で子育てをする

船橋市 花沢富美雄

手術するごとく道具を並べ置き日曜大工の夫の意気込み

滝沢市 小田佐枝子

次回は14日(火)
掲載予定

◇投稿規定◇ はがき1枚に未発表の1作品。住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記。
◇他の媒体、選者への二重投稿は厳禁です。〒103・8601、にほんばし蔵前郵便局留、読売歌(俳)壇、〇〇先生(希望選者名)係または読売新聞オンラインから 右の影絵はたなばたかざり